

平成19年12月4日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成19年12月4日
開会 11時30分 閉会 11時40分
- 2 場 所 役場5階会議室
- 3 出席委員 7名
委員長 中野敏勝
委 員 杉山晴夫 藤原 孟 増田武夫 牧野茂敏
永井繁樹 杉坂達男
議 長 古川 稔
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍 聴 者 中橋友子 谷口和弥 野原恵子
- 6 事 務 局 局長 堂前芳昭 課長 横山義嗣 係長 国安弘昭
- 7 審査事件 陳情第11号 地域医療を守り、国立病院の存続・充実をもとめる陳情書
- 8 審査結果 別 紙
- 9 審査内容 別 紙

委員長 中 野 敏 勝

◇審査内容

(11:30 開会)

○委員長（中野敏勝） ただいまから、民生常任委員会を開催いたします。

付託されました陳情の審査について、陳情第10号、地域医療を守り国立病院の存続・拡充を求める陳情書について、皆さんのご意見を求めます。

どなたかご意見ございませんか。

増田委員。

○委員（増田武夫） 今、地域の医療は非常に厳しい状況におかれているのではないかなと思います。

最近になって、広尾だとか大樹だとか管内では8町村の公立の病院を診療科に下さいと、そういう計画がだされて、この間も、広尾で町長も参加されて、地域の医療を守ろうという集会もあったのですが、非常に地域の医療が後退していこうとしていると思うのです。そういう中で、以前から問題になっているのですが、国立の病院をだんだん廃止していこうという、そういう方向が強まってきている結果こういう陳情ができたのではないかというふうに思うのです。

この国立の病院、なかなか儲からないけども、しっかりと先端医療をやって行かなければならないということで、この文書にもありますけども、癌だとか脳卒中、心臓病等こういうものになって、この帯広の療養所も心臓手術なんかでは、バイパス手術だとかいろいろなものでは、非常に技術的にもしっかりとした医療をしてくれているので、こういうところが将来的に民営化だとか、廃止となっていくと、十勝全体の医療の水準の低下にもなりかねないと思うのです。そういうことも考えると、やはりこうした、趣旨に沿った現象は非常に重要でないか、必要でないかと私は考えるところです。

○委員長（中野敏勝） 今必要意見がでましたけども、その他にどなたかありますか。

杉山委員。

○委員（杉山晴夫） 本陳情に反対するわけではありませんが、この帯広に国立病院があるわけですが、今個人の病院などは、非常に患者にたいして親切丁寧な対応をしているが、これは親方日の丸のせい、非常に医師も看護師もですね、その患者に対する対応が悪いというような世間風評がございます。実際に帯広病院も空きベットがかなりそういったことのせい、あるのだということも、そういう一面もあるのだということだけは、一応ご認識をしていただきたいと思います。

○委員長（中野敏勝） その他ございますか。

（なしの声あり）

○委員長（中野敏勝） 他にご意見がないようですので、採択をすることにしたいと思います。

よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長（中野敏勝） 討論を省略いたしまして採決をいたします。

それでは陳情第10号、地域医療を守り国立病院の存続・拡充を求める陳情書につきましては、民生常任委員会で採択としたいと思います。

採択することにご意見ありませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長（中野敏勝） 異議がないということで、したがって陳情第10号につきましては、採択とすることに決定いたしました。

次に2項目の閉会中の継続調査項目の決定についてを議題といたします。

いままで行っている分は、オの国民年金に関する事項、キの児童福祉に関する事項、クの身体障害者福祉

に関する事項、これは既に終わっておりますけども、次にどの項目を調査したらよろしいですか。

増田委員。

○委員（増田武夫） シの交通安全の関する事項はどうですか。

○委員長（中野敏勝） シの交通安全の保持に関する事項。もう一つ、防犯・防災及び公害に関する事項でよろしいでしょうか。

日程については、正副委員長で決めたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（中野敏勝） 申し遅れましたけども、先ほどの陳情の第10号につきましては、正副委員長で原案を作って提出をしたいと思えます。よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（中野敏勝） それではその他の事項に入ります。その他皆さんの方からご意見ございませんでしょうか。

ありませんか。

（なしの声あり）

○委員長（中野敏勝） 無いようですので、民生常任委員会を終了いたします。

（11：40 閉会）